



健康な今こそ、がん検診を



がんは、早期に発見し、早期に治療すれば、90%以上が治る病気です。

早期がんは初期症状がない場合が多いため、自覚症状がない健康な今こそ、自分のため、大切な人のためにがん検診を受けましょう！

◆乳がんにかかる人が増えています

乳がんは、女性がかかるがんで最も多く、生涯を通じて11人に1人がかかると言われています。

しかし、乳がんは不治の病ではなく、早期に見つけて、治療をすれば完治の可能性がぐっと高くなります。早期発見のためには、月に1回のセルフチェック(自己触診)と2年に1回のがん検診のダブルチェックが大切です。

セルフチェックのポイント

- 乳房の変形や左右差がないか
- 皮膚にえくぼやひきつれはないか
- 発赤・ただれ・むくみはないか
- 出血や異常な分泌液はないか

■市が行う乳がん検診

検査内容	対象者
視触診および乳房超音波検査(エコー)	30～39歳の女性と41～59歳の奇数年齢の女性
視触診および乳房X線検査(マンモグラフィ)	40～60歳の偶数年齢の女性と61歳以上で前年度に津市乳房X線検査を受診していない女性

※対象者の年齢は、平成29年3月31日時点です。

◆精密検査が必要と判定されたら、必ず受けましょう

検診結果が「要精密検査」や「要受診」の場合は、必ず医療機関で詳しい検査を受けましょう。がんでないことや他の病気が分かることもあるので、怖がらずに受診しましょう。

高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種のお知らせ

津市に住民登録がある下記に該当する人で、平成28年4月以降にまだ接種していない人はかかりつけ医に相談しましょう。

対象 次の全てを満たす人

- 過去に1回も肺炎球菌ワクチン(23価)を接種したことがない人
- 下記の(1)または(2)に該当する人

(1)次の表の生年月日に当てはまる人

年齢	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日生まれ
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日生まれ
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日生まれ
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日生まれ
85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日生まれ
90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日生まれ
95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日生まれ
100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日生まれ

※上記の表に当てはまる人には、4月下旬に案内通知を郵送しました。なお転入や紛失等で通知がない人は、健康づくり課(☎229-3310)へお問い合わせください。

(2)接種当日に60～64歳の人で、心臓・腎臓・呼吸器の機能に障がいがあり、日常生活が極度に制限される人

接種期間 平成29年3月31日(金)まで

接種回数 1回

接種場所 県内の協力医療機関

自己負担額 2,500円 ※生活保護受給者は、自己負担額の免除がありますので、必ず「被保護証明書」を医療機関に提出してください。

接種時の持ち物 健康手帳、予診票、健康保険証など住所が確認できるもの

※定期接種の対象にならない65歳以上の人には費用助成の制度がありません(過去に1回でも肺炎球菌ワクチン(23価)を接種した人は対象外)。

よくある質問

Q 平成29年4月以降に受けたいのですが受けることはできますか。

A 定期接種できるのは今年度限りです。

Q 過去に自費(任意接種)で肺炎球菌ワクチン(23価)を受けました。今年度対象年齢となったのですが、定期接種で受けられますか。

A 過去に肺炎球菌ワクチン(23価)を受けた人は、定期接種の対象外となります。